

瀬川清子 著 民俗學者。明治二十八年十月、二十日秋田縣生れ、昭和五十九年二月二十日歿（七八五—一九八）。本名キヨ。東洋大學專門部倫理學科卒。東京府立第一中學校教諭の傍ら、昭和八年柳田國男の節等、爾後全國の農山漁村の民俗調査に従事し、十九年教職を辭す。日本民俗學研究所研究員、二十五年大妻女子大學教授。女性民俗學研究會代表者（務めた）。

- 著書に、『見島聞書』（昭和十三年六月、二十日民間傳承の會）、『さくら』（昭和十七年十一月、二十日八人社）、「民俗選書」、復刊、二十二年十二月五日八人社）、『敷女』（昭和十八年十月八日二國書房）、「女性叢書」）、『海女記』（昭和二十五年七月十日ジープ社）、『食生活の歴史』（昭和二十一年二月十日大日本雄弁會講談社）、『婚姻覚書』（昭和二十一年六月、二十日大日本雄弁會講談社）、『さくらの中の女』（昭和二十六年一月五日三彩社）等。

